

生ごみ菌ちゃん通信

発行元：生ごみリサイクルサポーター連絡会・日野市ごみゼロ推進課

No. 30

発行日

2017年10月1日

連絡先

日野市ごみゼロ推進課

042-581-0444

<生ごみリサイクルサポーター活動報告>

★夏休み親子料理教室

「捨てるところなし！まるごと食べて夏バテ解消！！」

8/4（金）にまちの生ごみを考える会主催の夏休み親子料理教室が開催され、私たちリサイクルサポーターも手伝いのため参加しました。

講師は日野市在住で「野菜ソムリエプロ」の資格をお持ちの大原千絵美氏で、野菜を丸ごと使用した体にも環境にも良いメニューを14組の親子で作りました。

野菜の皮やヘタには、ものすごく栄養があり、当日はそれを使った美容や健康にもよいベジブロススープも作ることができました。食育にはもちろん夏休みの宿題の手助けにもなるイベントになったのではないのでしょうか。



親子で一緒にお料理！！
夏休みのよい思い出にもなりました

※野菜ソムリエプロとは、日本野菜ソムリエ協会の民間資格で、野菜・果物の専門的知識を有し、プロとして様々な活動をしている方です。



野菜の皮には、栄養がたくさんあるんだよ。捨てるのはもったいないよ。ぜ～んぶ食べちゃおうね！

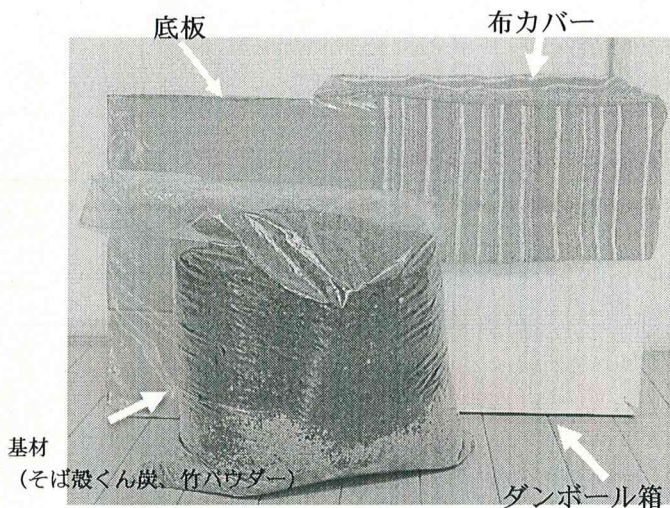
生ごみをダンボールコンポストの中に入れて生ごみが消えてしまいます。なぜでしょうか？

※答えは裏面



ダンボールコンポストの説明にも、子どもたちは、興味しんしん(#^_^#)

●○● ダンボールコンポストについて ●○●○●



購入について

◆価格 (配達料込)

ダンボールコンポストセット **補助金適用で**

2,340円 → 500円

基材のみ (竹パウダー・そば殻くん炭)

1,015円 → 250円

◆申込先

ごみゼロ推進課 TEL 042-581-0444

◆配達

ふらっと・すずかけ TEL042-594-9320

※事前に上記の番号から電話が入ります

【ダンボールコンポストの製作先】

●ダンボール、基材、底板

障害福祉サービス事業所

「ふらっと・すずかけ」

●布カバー

高齢者ふれあいサロン

「ひなたぼっこ」

※配達は、施設の利用者が行っているため、平日の日中のみとなります。ご理解・ご協力くださるようお願いいたします。

ダンボールコンポストで
生ごみが消えるわけ

A. 目に見えない微生物が生ごみを分解・発酵させてくれるから

ダンボールコンポストはダンボール箱、底板、中に入れる基材、布カバーの4点がセットになっています。生ごみは毎日投入することができ、1日500gの生ごみを投入した場合、大体3か月間程度使用ができます。その後は、基材を入れ替えて利用ができますので、年間を通して使用が可能です。

使用後の基材はたい肥としてご自宅のプランターや家庭菜園などでご使用ください。

菌ちゃん通信の設置場

●公共施設

市役所本庁舎 (ごみ相談窓口)

各図書館

七生支所

生活・保健センター

豊田駅連絡所

多摩平の森ふれあい館

中央公民館、中央公民館高幡台分室

カワセミハウス

市民活動支援センター

各交流センター

東部会館

勤労・青年会館

ひの煉瓦ホール

七生公会堂

子ども家庭支援センター

地域子ども家庭支援センター

●民間施設

多摩信用金庫 (各支店)

自然甲斐 (豊田駅南口)

Kupli (豊田駅北口)

れんげ (豊田駅南口)

こぶらす (豊田駅北口)